

アメリカで成功するにはスペイン語を学べ —ヒスパニックとの異文化交流—

樋口和喜
2026年1月22日

自己紹介

岐阜県岐阜市出身。早稲田大学在学中、メキシコに1年間国費留学。卒業後、住友商事(株)に入社。中南米市場調査業務を経て自動車製造関連のビジネス、部品の製造投資事業を北中南米、欧州、アジアで展開。海外勤務はメキシコに4回、合計17年間。メキシコ住友商事社長時、最大15社の事業会社経営管理支援を実施、のちメキシコキリウ社長を務める。

63歳の時に駐エルサルバドル日本国特命全権大使に任命され3年半の間、外交の促進、ODAの推進、日本企業の支援を図る。現在は、グローバル人材育成の動画講師、スペイン語講師、スタートアップ企業の支援をしている。

著書：「ヒスパニックマイノリティとメキシコ自動車ビジネス」
「商社マン、エルサルバドル大使になる」

目次

1. ヒスパニックとは
 - 1-2 主な居住都市・仕事
 - 1-3 購買力
 - 1-4 2024年アメリカ大統領選挙による変化
 - 1-5 不法移民
2. マイノリティクレジット
3. 異文化交流 ドジャーズ大谷選手
 - 3-2 パドレス松井選手、イチロー氏
 - 3-3 中南米・カリブ出身のメジャーリーガー
 - 3-4 各国のスペイン語の特徴
4. グローバル人材とは
 - 4-2 外国で通用しない日本人の習性
 - 4-3 ヒスパニック人材の登用とスペイン語

1. ヒスパニックとは

スペイン語が母国語: 5億人

世界のスペイン語話者: 6億人、世界人口の7.5%

ヒスパニック人口: 65百万人 ⇒ 2050年128百万人

2020年国勢調査:

2050年予測:

白人	58% (平均年齢: 41歳)	47%
----	-----------------	-----

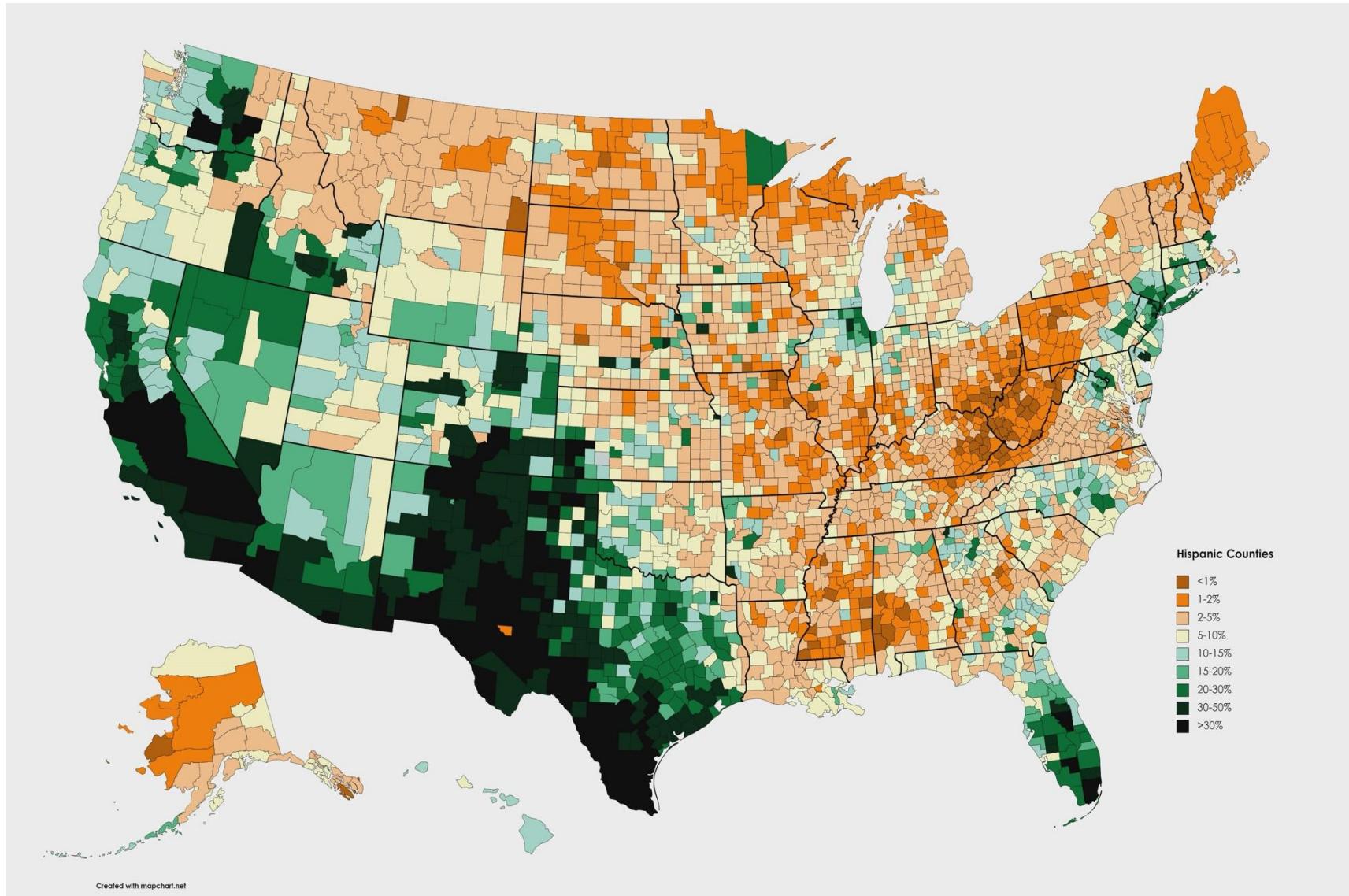
ヒスパニック	19% (平均年齢: 31歳)	30%
--------	-----------------	-----

アフリカ系	12%	13%
-------	-----	-----

アジア系	6%	9%
------	----	----



1-2. ヒスパニック居住地域



1-2. 主な居住都市・仕事

Los Angeles 1,870千人 (市人口の48%) 主にメキシコルーツ
New York 250千人 (市人口の29%) 主にドミニカ(共)ルーツ
Miami 320千人 (市人口の72%) 主にキューバルーツ
Houston 1,100千人 (市人口の48%) 主にメキシコルーツ
Chicago 790千人 (市人口の29%) 主にメキシコルーツ
メキシコルーツ 39百万人、ヒスパニック全体の63%

大都市でのサービス業務、工場労働者

政治家： 国務長官他、 119議会：下院56人(13%)、上院6人(6%)

家族送金： メキシコ 526億ドル(1世帯当たり月1,600ドル)、

グアテマラ141憶ドル、エルサルバドル67憶ドル

1-3. 購買力

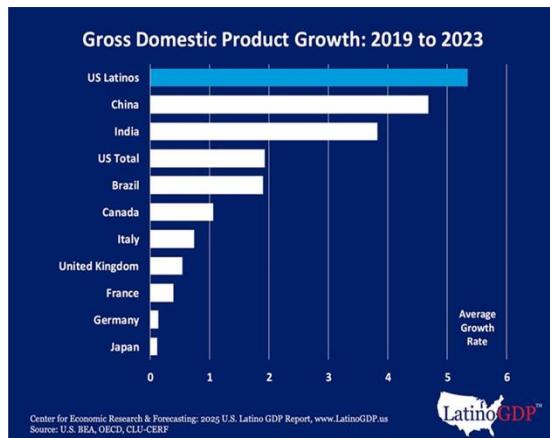
ヒスパニックの購買力：2026年は2兆8000億ドル予測、年平均5%成長

メキシコのGDPよりも1兆億ドル多い

ヒスパニックルーツごとのスペイン語表記

中南米文化を取り入れた広告

インターネット、SNSによる購買文化



1-4. 2024年アメリカ大統領選挙による変化

ヒスパニックは伝統的に民主党支持

2024年11月選挙： 共和党、トランプ氏支持に流れる

物価高、民主党のせいと貧しくなった

戦争が怖い

民主党の不法移民への処遇は不公平

合法移民の労働の機会を奪う不法移民を問題視

同胞、強い連帯意識、家族主義に反している異様な対応

共和党の方針と短絡的に一致

2026年11月の中間選挙に注目

1-5. 不法移民

不法移民者数： 12.2百万人(2007年) ⇒ 10.5百万人(2021年)

2022年、2023年 各々2百万人増加

メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドルが
全体の90% ⇒ 近年 50%

(ベネズエラ、エクアドル、中国からが増加)

正規の移民者数： 年間1百万人

日本の2050年人口予測： 95.2百万人 年間1.3百万人減少
アメリカと年間2.3百万人の開き

アメリカの保守系の考え方：



アングロサクソン系、プロテスタント社会が崩れる、
学校教育の質の低下、言語を変えて多文化主義化
に反対

エルサルバドルテロリスト監禁センター

2. マイノリティクレジット

- マイノリティ: アメリカの市民権を持つ、白人以外のアフリカ系、ヒスパニック、アジア系、先住民の25%以上の血統
- マイノリティ支援: 経済の自立、社会の安定化
- マイノリティ企業: 資本金の51%以上がマイノリティの個人またはグループによる出資、営利企業であること、
2年以上操業、
年商1百万ドル以上、
出資者が実質的に会社運営に関与
- マイノリティクレジット: マイノリティ企業から調達する金額。
自動車会社など自主的な目標5-10%を設定。
政府契約の場合、目標値を設定。

商務省MBDA: Minority Business Development Agency

3. 異文化交流 ドジャーズ大谷選手

Fanáticos ?

Aficionados ?

Vamo, Vamo!

Vamos, Vamos!

ドミニカ共和国出身のTeoscar Hernandez選手が先生

コミュニケーションの本質：互いに繋がろうとする絆

相手の心を掴む

なぜなぜを繰り返す、マインド教育

異文化交流の先駆者

Dodgers or Los Doyers

3-2. パドレス松井選手、イチロー氏

松井選手: Hola! Qué onda? Mucho gusto

イチロー氏: 絆が深まる、言語はコミュニケーションツール

ネフタリ・ソト選手(ロッテマリーンズ、プエルトリコ出身)

バモ ネフタリ という応援歌

3-3. 中南米・カリブ出身のメジャーリーガー

登録選手(2024年)	949人
アメリカ以外の外国人選手	264人
(中南米・カリブ出身選手)	(226人) 登録選手全体の24%
ドミニカ共和国	108人
ベネズエラ	58人
キューバ	18人
メキシコ	12人

ヒューストン・アストロズ(テキサス州) 16人

サンディエゴ・パドレス(カリフォルニア州) 15人

スペイン語対応: 日刊 26紙、週刊428紙、テレビ41局、ラジオ1,323局

3-4. 各国のスペイン語の特徴

スペイン: c、zはth発音、早口、はっきりしている

メキシコ: 先住民のナワトル語がスペイン語に残る。Huachinango
(鯛)、Cempasuchil(マリーゴールド)、Cuernavaca。

独特的の表現:Mande? 高地住民はゆっくり話す

アルゼンチン: シャー、シャー文化。Che、Vos=Tú

カリブ海諸国: Comer s(sを発音しない) Cómo está?は コモエタ?

ボリビア、エクアドル、コロンビアの首都: 酸欠防止か? ゆっくり話す

中南米のスペイン語は、コロンビアで話されるスペイン語が標準か

Bar Molino Rojo バー 森の老女?

4. グローバル人材とは

グローバル人材の要件：海外で収益を生み出せる人材

グローバルマインド、異文化マネジメント、経営知識、ビジネス環境理解、言語力、適応力⇒総合的なコミュニケーション能力

自分創りを怠らない

夢を持つ

ビジョンや目標を設定できる

個性を發揮できる

問題意識や変革マインドを備えている

成果を出せる

マインド力を高める、〇〇さんならでは



4. グローバル人材のマインドとスキル

高

人材 10%	人財 5%
人罪 5%	人在 80%

Y

低

X

高

Y: マインド軸 自分作り。自責、謙虚、
感性、向上心、
好奇心

X: スキル軸 機能的・専門的能力、
普遍的ビジネス能力、
財務諸表、情報、語学、
技術、コミュニケーション能力

4-2. 外国で通用しない日本人の習性

挨拶が少ない、相手を見る。握手の仕方

なかなか褒めない、すぐ怒る

物事を丸く収める

日本人同士で固まる



(例)メキシコ人の気質：

表面的に陽気、実は根暗(被征服者意識が根付く) Octavio Paz氏

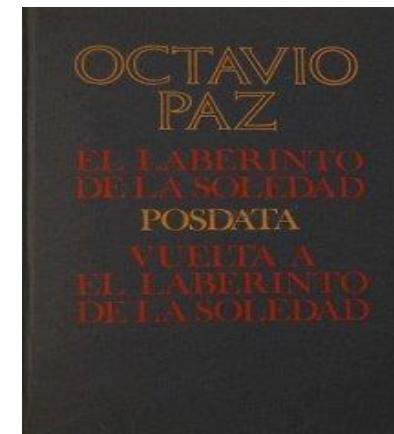
他責の念が強い

家族主義

連帯感が強い

肩書社会

時間管理があまい



「孤独の迷宮」

4-3. ヒスパニック人材の登用とスペイン語

ヒスパニック消費市場 2026年は2兆8000億ドル予測

メキシコでの事業成功例をアメリカに展開

ヒスパニックの市場戦略担当を採用

SNSや口コミによる情報発信

ヒスパニックの気質を理解する

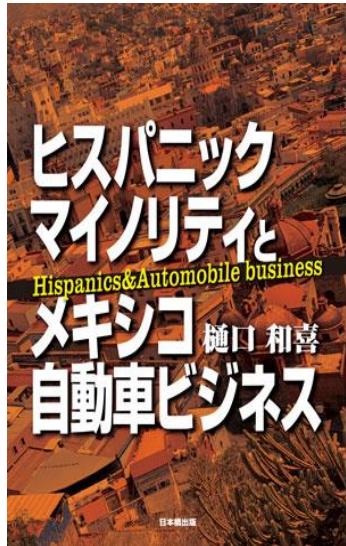
スペイン語での挨拶

中南米文化に関心を示す

ヒスパニックを上から目線で見ない

グローバル人材の要件

ご清聴有難うございました



変化への挑戦

CHANGE - T = ?

T = ?

変化への挑戦

CHANGE - T = ?



T = ?

変化への挑戦：正解

CHANGE – T = CHANCE

T = Threat(脅威)

変化があればチャンスが生まれる
チャンスを大切にする人：マインドが高い人材

参考： アメリカで開催される国際試合

2026年3月17日WBC決勝戦はマイアミローンデポ・パーク球場、
2023年の決勝戦と同じ球場。

2026年6月からアメリカ・カナダ・メキシコ3ヶ国共同開催のサッカーワールドカップ。

2028年7月14日から30日にオリンピック、8月15日から27日までのパラリンピック開催地はロサンゼルス。野球会場はドジャースタジアムが最有力。